

2015年 9 月27日 実施

平成27年度（第53回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈プログラミング部門〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 9 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 【5】 【6】 は共通問題です。
5. 【7】 の問題は J a v a ・マクロ言語のいずれか一つを選択し，解答用紙の選択言語を ☐ で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【 4 】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(3)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値に順位をつけてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Kei に数値を記憶する。なお、データ件数は n 件である。

配列

Kei	(0)	(1)	～	($n-2$)	($n-1$)
	245	112	～	78	358

2. 配列 Jun を利用し、配列 Kei の数値の降順に順位をつけて、Kei と Jun の内容を表示する。なお、数値が同じ場合は同順位とする。

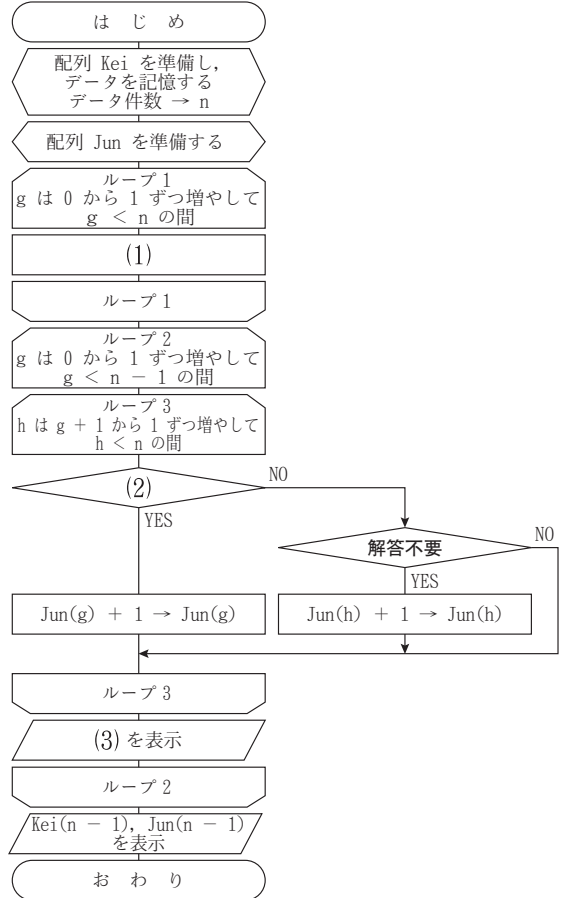
配列

Jun	(0)	(1)	～	($n-2$)	($n-1$)
			～		

解答群

- ア. $0 \rightarrow \text{Jun}(g)$
- イ. $\text{Kei}(g), \text{Jun}(g)$
- ウ. $\text{Kei}(g) > \text{Kei}(h)$
- エ. $1 \rightarrow \text{Jun}(g)$
- オ. $\text{Kei}(h), \text{Jun}(h)$
- カ. $\text{Kei}(g) < \text{Kei}(h)$

<流れ図>



問 2. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(4)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した文字列を並べ替えてディスプレイに表示する。

処理条件

1. 配列 Eiji に文字列を記憶する。なお、データ件数は n 件である。

配列

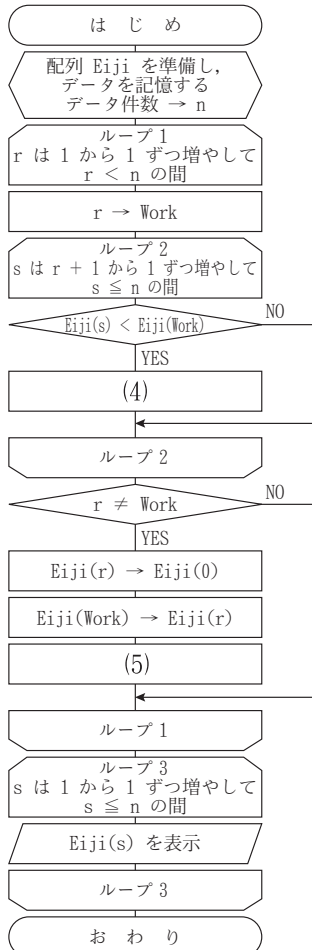
Eiji	(0)	(1)	～	($n-1$)	(n)
		yellow	～	pink	blue

2. 配列 Eiji の文字列を昇順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Eiji の内容を表示する。

解答群

- ア. $\text{Eiji}(0) \rightarrow \text{Eiji}(\text{Work})$
- イ. $\text{Eiji}(0) \rightarrow \text{Eiji}(s)$
- ウ. $s \rightarrow \text{Work}$
- エ. $r \rightarrow \text{Work}$

<流れ図>



【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

アイスクリーム店の月間販売データを読み、月間販売一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

日付 (Hiduke)	時刻 (Jikoku)	商品コード (Scode)	数量 (Suryo)
××××	××××	××	××

(第 1 図)

実行結果

(月間販売一覧表)					
(日付)	(バニラ)	(イチゴ)	～	(もも)	(チョコ)
0801					
9時台	4	2	～	0	5
10時台	8	5	～	4	11
～	～	～	～	～	～
19時台	16	12	～	6	13
20時台	7	2	～	4	12
(日計)	209	138	～	90	235
～					
0831					
9時台	3	0	～	1	9
10時台	13	6	～	3	11
～	～	～	～	～	～
19時台	16	6	～	6	14
20時台	5	3	～	4	2
(日計)	135	102	～	61	161
(月計)	6,648	4,232	～	2,193	7,236

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図のデータは、日付、時刻の昇順に記録されている。なお、時刻は 9 時 00 分から 20 時 59 分であり、次の例のように構成されている。また、商品コードは 1(バニラ)～10(チョコ)である。

例 1 0 0 2 → 1 0 時 0 2 分

- 第 1 図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 日付ごとの 1 行目に日付を表示する。
 - 時間帯別に配列 Jikei に数量を集計する。なお、Jikei の添字は商品コードと対応している。

配列

Jikei	(0)	(1)	～	(10)
			～	

- 時間帯がかわるごとに時間帯と商品別数量を表示し、配列 Hikei に日計を集計する。なお、Hikei は配列 Jikei と添字で対応している。

配列

Hikei	(0)	(1)	～	(10)
			～	

- 日付がかわるごとに日計を表示し、配列 Tukikei に月計を集計する。なお、Tukikei は配列 Hikei と添字で対応している。

配列

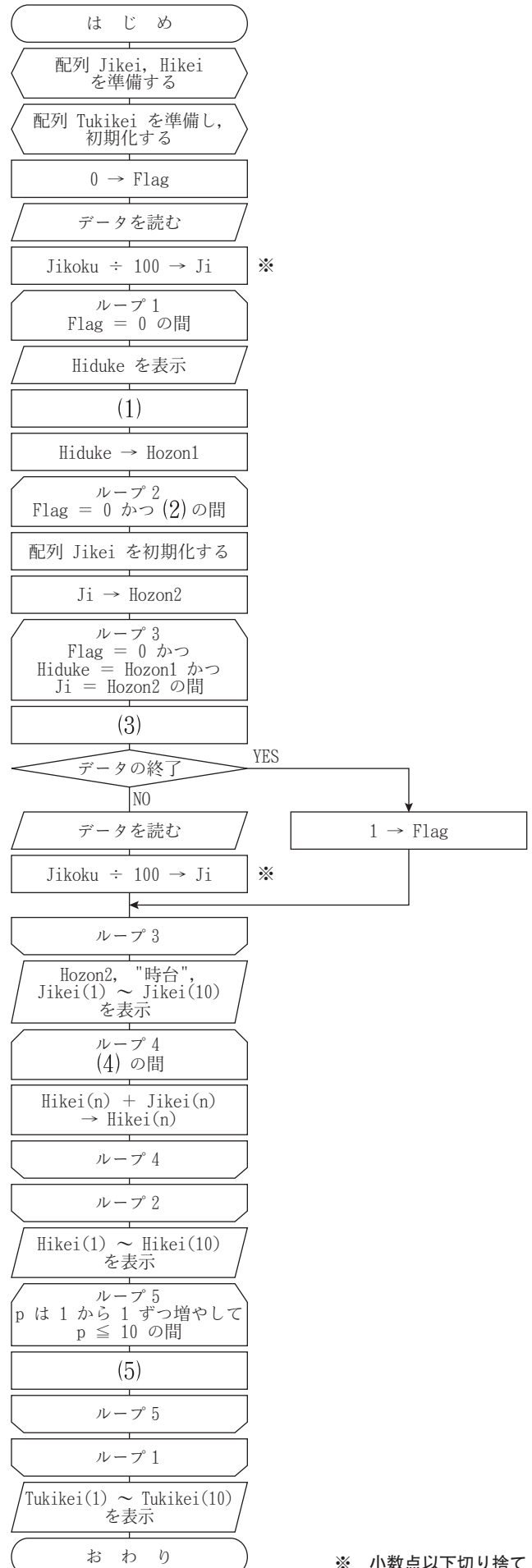
Tukikei	(0)	(1)	～	(10)
			～	

- 入力データが終了したら、月計を表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Hiduke = Hozon1
 イ. Tukikei(p) + Hikei(p) → Tukikei(p)
 ウ. n は 1 から 1 ずつ増やして n < 10
 エ. Tukikei(p) + Jikei(p) → Tukikei(p)
 オ. Hiduke = Ji
 カ. 配列 Tukikei を初期化する
 キ. Jikei(Scode) + Suryo → Jikei(Scode)
 ク. Jikei(Hozon2) + Suryo → Jikei(Hozon2)
 ケ. 配列 Hikei を初期化する
 コ. n は 1 から 1 ずつ増やして n ≤ 10

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

【 6 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある会社のビジネスマナー研修データを読み、ビジネスマナー研修参加結果をディスプレイに表示する。

入力データ

評価者番号 (Hban)	参加者番号 (Sban)	評価項目コード (Hcode)	評価点 (Hten)
××	×××	×	×

(第 1 図)

実行結果

(ビジネスマナー研修参加結果)					
大通り店	(最高評価点)	(社員名)			
あいさつ	47	島田勝弘	田中明子		
身だしなみ	33	会沢里恵			
商品知識	32	会沢里恵	小林弘子	山田隆司	
電話対応	48	太田達也			
学園店					

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の参加者番号は、次の例のように構成されている。なお、店舗番号は 1～8 であり、全店舗の社員数合計は100名未満である。また、各店舗から 1 名以上参加するものとする。

例 3 1 2 → 3 1 2
店舗番号 社員番号

- 第 1 図の評価項目コードは 1～6 であり、評価点は 5 (良い) ～1 (悪い) である。
- 次の各配列にデータを記憶する。
 - 配列 Scode に参加者番号を、配列 Smei に社員名を、参加者番号の昇順に記憶する。なお、Scode と Smei は添字で対応している。

配列

Scode	Smei
(0) 101	(0) 会沢里恵
(1) 102	(1) 安島博行
}	}
(99)	(99)

- 配列 Tmei に店舗名を記憶する。なお、Tmei の添字は店舗番号と対応している。

配列

Tmei	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
		大通り店	ゆりのき店	～	けやき店	学園店

- 配列 Kmei に評価項目名を記憶する。なお、Kmei の添字は評価項目コードと対応している。

配列

Kmei	(0)	(1)	(2)	～	(5)	(6)
		あいさつ	身だしなみ	～	商品知識	電話対応

- 第 1 図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 参加者番号をもとに配列 Scode を探索し、配列 Syu に評価点を集計する。なお、Syu の行方向の添字は Scode の添字と、列方向の添字は評価項目コードと対応している。

配列

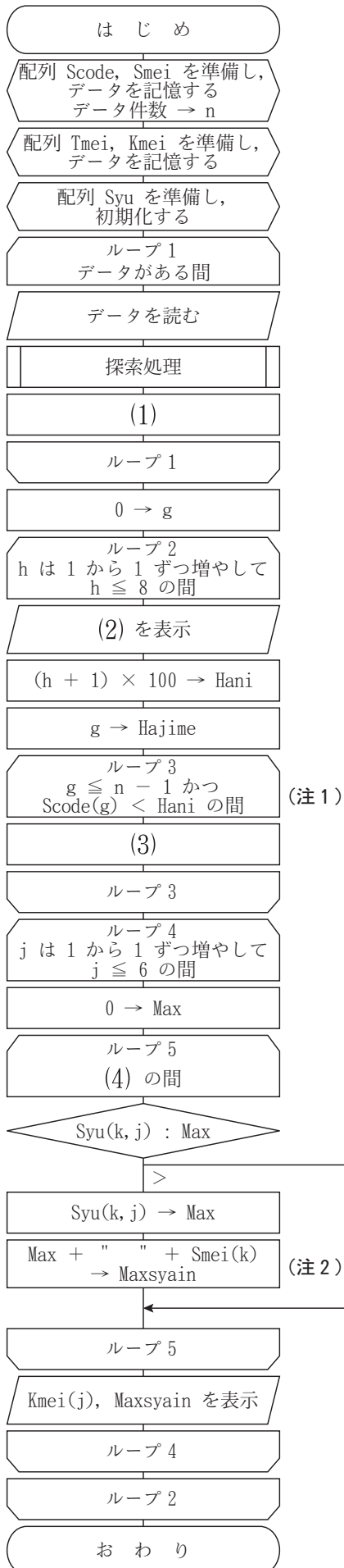
Syu	(0)	(1)	(2)	～	(5)	(6)
(0)				～		
(1)				～		
}	}	}	}	}	}	}
(99)				～		
	(あいさつ)	(身だしなみ)	～	(商品知識)	(電話対応)	

- 入力データが終了したら、店舗ごとに店舗名を表示し、評価項目ごとに評価項目名と最高評価点および最高評価点のすべての社員名を第 2 図のように表示する。
- データにエラーはないものとする。

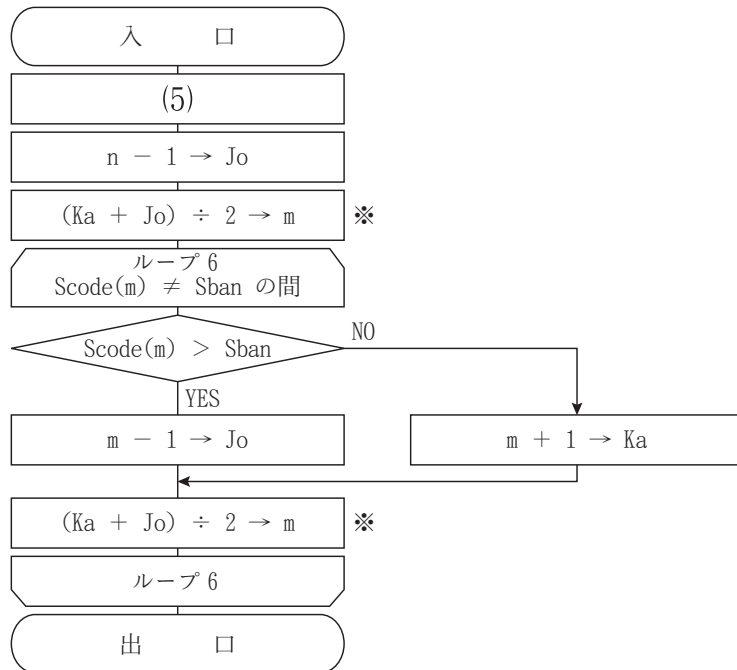
解答群

- ア. $h + 1 \rightarrow h$
 イ. $Tmei(h)$
 ウ. k は Hani から 1 ずつ増やして $k \leq g$
 エ. $0 \rightarrow Ka$
 オ. k は Hajime から 1 ずつ増やして $k \leq g - 1$
 カ. $Syu(m, Hcode) + Hten \rightarrow Syu(m, Hcode)$
 キ. $Kmei(h)$
 ク. $g + 1 \rightarrow g$
 ケ. $n \rightarrow Ka$
 コ. $Syu(m, Sban) + Hten \rightarrow Syu(m, Sban)$

< 流れ図 >



探索処理



※ 小数点以下切り捨て

(注 1) 条件式が「かつ」で複合されている場合、先に記述された条件式が偽になった時点で、判定を終了する。

(注 2) ここでの「+」は、文字列結合を意味する。

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

＜プログラムの説明＞

処理内容

体育祭のポイントデータを読み、指定したコードの集計結果を表示する。

入力データ

ポイントデータ（ファイル名：points.csv）

種目コード	年	組	ポイント
×	×	×	×

（第1図）

実行結果

コード(1～8)を入力してください。→1
 玉入れ
 1年
 1位 2組 51ポイント
 2位 6組 46ポイント
 } } }
 5位 5組 37ポイント
 6位 4組 33ポイント
 2年
 1位 3組 47ポイント
 1位 5組 47ポイント
 } } }
 5位 6組 43ポイント
 6位 2組 38ポイント
 3年
 1位 6組 53ポイント
 2位 5組 46ポイント
 } } }
 5位 1組 39ポイント
 5位 4組 39ポイント
 コード(1～8)を入力してください。→8
 総合ポイント
 }

（第2図）

処理条件

1. 配列 name に種目名を記憶する。なお、第1図の種目コードは 1～7 であり、name の添字と対応している。また、name(8) は 総合ポイント を記憶する。

配列

name	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
		玉入れ	二人三脚	～	大縄跳び	総合ポイント

2. 種目情報を管理する EventInfo クラスをインスタンス化し、配列 event に記憶する。なお、event は配列 name と添字で対応している。また、event(8) は全種目のポイントを集計するために利用する。

配列

event	(0)	(1)	(2)	～	(7)	(8)
				～		

3. 配列 classNumber に 1～6 の値を記憶する。なお、第1図の年は 1～3、組は 1～6 であり、classNumber の行方向の添字は年と、列方向の添字は組と対応している。

配列

classNumber	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(0)							
(1)		1	2	3	4	5	6
(2)		1	2	3	4	5	6
(3)		1	2	3	4	5	6

4. 第1図のポイントデータを読み、種目ごとに配列 classPoint にポイントを集計する。なお、種目ごとに同じ年、組のデータが複数ある場合もある。また、classPoint は、配列 classNumber と添字で対応している。

配列

classPoint	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(0)							
(1)							
(2)							
(3)							

5. データを読み終えたあと、キーボードからコード(1～8)を入力すると、配列 classNumber、classPoint を年ごとにポイントの降順に並べ替え、配列 ranking を利用し順位をつけて第2図のようにディスプレイに表示する。なお、ポイントが同じ場合、同順位として組の昇順に表示する。

配列

ranking
(0)
(1)
(2)
(3)

6. キーボードから 0 が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

```
//クラスEventInfo
public class EventInfo {
    private String name;
    private int[] classNumber = new int[4][7];
    private int[] classPoint = new int[4][7];
    private int sortFlag;
    public EventInfo(String name) {
        this.name = name;
        for(int i = 1; i <= 3; i++) {
            for(int j = 1; j <= 6; j++) {
                classNumber[i][j] = j;
            }
        }
    }
    public void addPoint(int i, int j, int point) {
        classPoint[i][j] = (1);
    }
    public int getFlag() {
        return sortFlag;
    }
    public void sort() {
        for(int i = 1; i <= 3; i++) {
            for(int j = 5; j >= 1; j--) {
                for(int k = 1; k <= j; k++) {
                    if((2) {
                        classNumber[i][0] = classNumber[i][k];
                        classNumber[i][k] = classNumber[i][k + 1];
                        classNumber[i][k + 1] = classNumber[i][0];
                        classPoint[i][0] = classPoint[i][k];
                        classPoint[i][k] = classPoint[i][k + 1];
                        classPoint[i][k + 1] = classPoint[i][0];
                    }
                }
            }
        }
        sortFlag = 1;
    }
    public void printPoint() {
        System.out.println(name);
        System.out.printf("¥t1年 ¥t¥t¥t2年 ¥t¥t¥t3年¥n");
        int[] ranking = new int[4];
        for(int i = 1; i <= 6; i++) {
            for(int j = 1; j <= 3; j++) {
                if(classPoint[j][i] != classPoint[j][i - 1] || i == 1) {
                    (3);
                }
                System.out.printf("¥t¥d位 ¥d組 ¥3dポイント", ranking[j], classNumber[j][i], classPoint[j][i]);
            }
            System.out.println();
        }
    }
}

//クラスSportsDay
import java.io.BufferedReader;

public class SportsDay {
    private static String[] name = { "", "玉入れ", "二人三脚", "~", "大縄跳び", "総合ポイント" };
    private static EventInfo[] event = new EventInfo[9];
    public static void main(String[] args) {
        try {
            for(int i = 1; i <= 8; i++) {
                (4) = new EventInfo(name[i]);
            }
            BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("points.csv"));
            String line;
            while((line = fileIn.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int code = Integer.parseInt(str[0]);
                int gradeIndex = Integer.parseInt(str[1]);
                int classIndex = Integer.parseInt(str[2]);
                int point = Integer.parseInt(str[3]);
                event[code].addPoint(gradeIndex, classIndex, point);
                event[8].addPoint(gradeIndex, classIndex, point);
            }
            fileIn.close();
        } catch(Exception e) {
            System.out.println("エラーが発生しました" + e);
        }
        Scanner keyboardIn = new Scanner(System.in);
        System.out.print("コード(1~8)を入力してください。→");
        int code = keyboardIn.nextInt();
        while(code != 0) {
            if(event[code].getFlag() != 1) {
                event[code].sort();
            }
            event[code].(5);
            System.out.print("コード(1~8)を入力してください。→");
            code = keyboardIn.nextInt();
        }
        keyboardIn.close();
    }
}
```

【 7 】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)～(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

携帯電話会社の電話窓口への問合せデータを読み、電話窓口対応一覧を表示する。

入力データ

問合せデータ（ファイル名：toiawase.csv）

日付	問合せコード	年齢	性別コード	対応時間（分）
××××	×	×××	×	×××

（第 1 図）

ユーザーフォーム・実行結果

電話窓口対応一覧		
問合せ項目名	件数計	構成比率
故障・紛失	255	19.0%
操作方法	331	24.7%
契約内容	305	22.8%
ご意見	276	20.6%
その他	173	12.9%

(Label1)

問合せコード	3	表示
(TextBox1)		
問合せ項目名	契約内容	クリア
(Label12)		
件数	平均対応時間（分）	年齢・性別区分名
41	12.7	40代女性
41	11.3	30代女性
19	14.0	50代男性
16	7.3	60歳以上女性

(Label13)

（第 2 図）

処理条件

- 第 1 図の問合せコードは 1～5 である。また、性別コードは 1 が男性、2 が女性である。
- ユーザーフォーム初期化時に、次の処理を行う。
 - 配列 Nkubun に年齢区分の上限値、配列 Kmei に年齢・性別区分名、配列 Tmei に問合せ項目名、配列 Soe に 1～10 の値を記憶する。なお、年齢・性別区分名は年齢区分ごとに男性、女性の順に記憶する。また、Tmei の添字と Soe の行方向の添字は問合せコードと対応し、Soe の列方向の添字は Kmei の添字と対応している。

配列

Nkubun	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)						
	29	39	49	59							
Kmei	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)					
		29歳以下男性	29歳以下女性	～	60歳以上男性	60歳以上女性					
Soe	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)					
(0)				～							
(1)		1	2	～	9	10					
1	1	1	1	1	1	1					
(5)		1	2	～	9	10					
	</										

- 第 1 図の問合せデータを読み、年齢をもとに配列 Nkubun を探索し、件数を配列 Ken に、対応時間（分）を配列 Syu に集計する。なお、Ken の 0 列目には件数計を求める。また、配列 Soe, Ken, Syu の各添字は対応している。

配列

Ken	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
(0)				～		
(1)				～		
1	1	1	1	1	1	1
(5)				～		
	(件数計)					
Syu	(0)	(1)	(2)	～	(9)	(10)
(0)				～		
(1)				～		
1	1	1	1	1	1	1
(5)				～		

- データを読み終えたあと、配列 Syu に平均対応時間（分）を求める。また、問合せ項目ごとに件数計の構成比率を求め、第 2 図のように Label1 に表示する。
- 第 2 図のように TextBox1 に問合せコードを入力し、「表示」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。
 - 配列 Soe, Ken, Syu を問合せ項目ごとに件数の降順に並べ替える。なお、件数が同じ場合、平均対応時間（分）の降順に並べ替える。さらに、平均対応時間（分）も同じ場合、年齢・性別区分名順とする。
 - 第 2 図のように Label2, Label3 にそれぞれ表示する。

< マクロ言語プログラム >

```
Option Explicit
Dim Kmei(10) As String, Tmei(5) As String, Soe(5, 10) As Long, Ken(5, 10) As Long, Syu(5, 10) As Single

Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim Nkubun(4) As Long, g As Long, h As Long, Hiduke As Long, Toi As Long, Nen As Long, Sei As Long, Fun As Long
    Dim j As Long, k As Long, Kenkei As Long, m As Long, n As Long, Hiritu As Single
    Nkubun(0) = 29: Nkubun(1) = 39: Nkubun(2) = 49: Nkubun(3) = 59
    Kmei(1) = "29歳以下男性": Kmei(2) = "29歳以下女性": Kmei(3) = "30代男性": Kmei(4) = "30代女性": Kmei(5) = "40代男性"
    Kmei(6) = "40代女性": Kmei(7) = "50代男性": Kmei(8) = "50代女性": Kmei(9) = "60歳以上男性": Kmei(10) = "60歳以上女性"
    Tmei(1) = "故障・紛失": Tmei(2) = "操作方法": Tmei(3) = "契約内容": Tmei(4) = "ご意見": Tmei(5) = "その他"
    Label1.Caption = ""
    Call Syokika
    For g = 1 To 5
        For h = 1 To 10
            Soe(g, h) = h
        Next h
    Next g
    Open ThisWorkbook.Path & "\Ytoiawase.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Input #1, Hiduke, Toi, Nen, Sei, Fun
        Nkubun(4) = Nen
        j = 0
        Do While Nkubun(j) < Nen
            j = j + 1
        Loop
        k = (1)
        Ken(Toi, k) = Ken(Toi, k) + 1
        Ken(Toi, 0) = Ken(Toi, 0) + 1
        Kenkei = Kenkei + 1
        Syu(Toi, k) = (2)
    Loop
    Close #1
    For (3)
        For n = 1 To 10
            If Ken(m, n) > 0 Then
                Syu(m, n) = Int(Syu(m, n) * 10 / Ken(m, n)) / 10
            End If
        Next n
        Hiritu = Ken(m, 0) * 100 / Kenkei
        Label1.Caption = Label1.Caption & Tmei(m) & " " & _
            Format(Format(Ken(m, 0), "#,##0"), "####") & " " & _
            Format(Format(Hiritu, "##0.0"), "####") & "%" & Chr(13) & Chr(10)
    Next m
End Sub

Private Sub 表示_Click()
    Dim Tcod As Long, p As Long, r As Long, s As Long
    Tcod = Val(TextBox1.Text)
    Label2.Caption = Tmei(Tcod)
    If Soe(Tcod, 0) <> 99 Then
        For p = 9 To 1 Step -1
            For r = 1 To p
                If Ken(Tcod, r) < Ken(Tcod, r + 1) Or (4) Then
                    Ken(Tcod, r) = Ken(Tcod, r + 1) And (4) Then
                        Soe(Tcod, 0) = Soe(Tcod, r): Soe(Tcod, r) = Soe(Tcod, r + 1): Soe(Tcod, r + 1) = Soe(Tcod, 0)
                        Ken(Tcod, 0) = Ken(Tcod, r): Ken(Tcod, r) = Ken(Tcod, r + 1): Ken(Tcod, r + 1) = Ken(Tcod, 0)
                        Syu(Tcod, 0) = Syu(Tcod, r): Syu(Tcod, r) = Syu(Tcod, r + 1): Syu(Tcod, r + 1) = Syu(Tcod, 0)
                    End If
                Next r
            Next p
            Soe(Tcod, 0) = 99
        End If
        Label3.Caption = ""
        For s = 1 To 10
            Label3.Caption = Label3.Caption & Format(Format(Ken(Tcod, s), "##0"), "###") & " " & _
                Format(Format(Syu(Tcod, s), "##0.0"), "####") & " " & _
                Kmei((5)) & Chr(13) & Chr(10)
        Next s
    End Sub

Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub

Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub

Private Sub Syokika()
    TextBox1.Text = "": Label2.Caption = "": Label3.Caption = ""
End Sub
```

(注) 使用例 Format(Format(1234.5, "###,##0.0"), "#####")

 └─▶ 「1,234.5」

 └─▶ 「 1,234.5」

(平成27年 9 月27日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成27年度（第53回）情報処理検定試験プログラミング部門 第1級
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小 計

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語]

【7】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		J a v a	マ ク ロ 言 語		

選択言語を で囲むこと

(平成27年 9 月27日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成27年度（第53回）情報処理検定試験プログラミング部門 第1級
審 査 基 準

【1】

1	2	3	4	5
オ	ケ	ウ	キ	サ

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ア	エ	ク	イ	コ

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ウ	ア	イ	ア	ウ

各2点
計10点

小 計
30

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
エ	カ	イ	ウ	ア

各3点
計15点

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ケ	ア	キ	コ	イ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
カ	イ	ク	オ	エ

各3点
計15点

小 計
45

..... [J a v a] ・ [マクロ言語]

[J a v a] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】

(1)	c l a s s P o i n t [i] [j] + p o i n t
(2)	c l a s s P o i n t [i] [k] < c l a s s P o i n t [i] [k + 1]
(3)	r a n k i n g [j] = i
(4)	e v e n t [i]
(5)	p r i n t P o i n t ()

[マクロ言語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】

(1)	S e i + j * 2
(2)	S y u (T o i , k) + F u n
(3)	m = 1 T o 5
(4)	S y u (T c o d , r) < S y u (T c o d , r + 1)
(5)	S o e (T c o d , s)

各5点 計25点

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		小 計	合 計
		J a v a	マクロ言語	25	100

選択言語を で囲むこと